2026年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名　　ＯＵＧホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　8041　　ＵＲＬ　https://www.oug.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）橋爪　康至
問合せ先責任者　（役職名）取締役経営基盤グループ担当　　（氏名）山田　稔　　ＴＥＬ　06-4804-3031
半期報告書提出予定日　　2025年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：　有
決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2026年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2025年４月１日～2025年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年３月期中間期	171,003	3.3	2,301	40.2	2,599	37.1	2,216	19.8
2025年３月期中間期	165,497	2.9	1,641	18.1	1,896	11.8	1,849	83.1

（注）包括利益　2026年３月期中間期　2,210百万円（33.3%）　2025年３月期中間期　1,658百万円（△4.5%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年３月期中間期	410.56	－
2025年３月期中間期	343.49	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年３月期中間期	93,879	37,241	39.7	6,899.15
2025年３月期	90,270	35,555	39.4	6,585.95

（参考）自己資本　2026年３月期中間期　37,241百万円　2025年３月期　35,555百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年３月期	－	0.00	－	97.00	97.00
2026年３月期	－	0.00			
2026年３月期（予想）			－	102.00	102.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2026年３月期の連結業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	351,000	0.3	4,600	△9.8	4,900	△16.8	4,000	△11.6	741.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年３月期中間期	5,562,292株	2025年３月期	5,562,292株
②　期末自己株式数	2026年３月期中間期	164,341株	2025年３月期	163,532株
③　期中平均株式数（中間期）	2026年３月期中間期	5,398,237株	2025年３月期中間期	5,385,433株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
(継続企業の前提に関する注記) …… 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 8
(セグメント情報等の注記) …… 8

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、所得情勢、個人消費、設備投資、生産活動、雇用情勢に総じて持ち直しの動きがみられ、緩やかに回復しています。

消費者心理は、消費者物価の上昇に賃金の伸びが追いつかず、生活防衛意識を反映し、節約志向が継続しています。

水産物流通業界におきましては、需要動向については、外食・宿泊・インバウンド関連需要は回復しているものの、内食関連需要は物価高騰も影響し総じて伸び悩んでいます。

このような環境にあって、当社グループは、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し事業活動を展開しています。

また、2024年度から2026年度までの３カ年を対象とした『ＯＵＧグループ中期経営計画2024』に従い、継続してバリューチェーンの最適化を意識したグループ役職員の個々の行動変容を通じ、１．「鮮魚事業の強化」、２．「商品力の強化」、３．「関東マーケットの深耕・拡大」、４．「海外事業の拡大」、５．「サステナブルな事業活動」の事業テーマにグループ一体となって取り組んでいます。

当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は171,003百万円（前年同期比103.3%）となりました。損益面では、売上総利益は15,784百万円（前年同期比109.1%）となり、営業利益2,301百万円（前年同期比140.2%）、経常利益2,599百万円（前年同期比137.1%）、親会社株主に帰属する中間純利益2,216百万円（前年同期比119.8%）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

＜水産物荷受事業＞

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、世界的な水産物需要の高まりなどを背景に販売単価が上昇し増収となりましたが、販売数量の減少および人件費・物流費を中心に販管費の増加があり、売上高105,738百万円（前年同期比104.3%）、セグメント利益1,238百万円（前年同期比81.3%）となりました。

＜市場外水産物卸売事業＞

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、外食・宿泊・インバウンド関連需要が好調に推移する中、商品調達コストおよび販管費の上昇を販売価格に転嫁することに努め増収となりましたが、物流費を中心とした販管費の増加を補いきれず、売上高66,101百万円（前年同期比102.6%）、セグメント利益592百万円（前年同期比93.6%）となりました。

＜養殖事業＞

九州、四国にて、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、主力の養殖ブリにおいて、長引く高海水温による生育遅れなどによる販売数量の減少および生産原価の上昇はありましたが、全国的に在池量が少ないことなどにより販売単価が大きく上昇し、売上高4,436百万円（前年同期比106.8%）、セグメント利益444百万円（前年同期はセグメント損失523百万円）となりました。

＜食品加工事業＞

量販店向けの米飯加工、カット野菜加工、冷凍マグロの加工、飲食事業者向けの加工・調理サービスなどを行う食品加工事業は、前期末に冷凍マグロの加工を行う連結子会社１社が加入したことなどにより増収となりましたが、原材料価格の高騰などによる生産原価の上昇があり、売上高2,115百万円（前年同期比112.1%）、セグメント損失64百万円（前年同期はセグメント損失64百万円）となりました。

＜物流事業＞

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け・配送を行う物流事業は、人件費等の販管費の増加はありましたが、センターフィを中心に売上が全般的に増加し、売上高929百万円（前年同期比104.5%）、セグメント利益８百万円（前年同期はセグメント損失０百万円）となりました。

＜その他＞

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高1,644百万円（前年同期比77.0%）、セグメント損失29百万円（前年同期はセグメント利益18百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて3,609百万円増加し、93,879百万円となりました。増加の主な要因は、棚卸資産の増加3,075百万円によるものです。

負債は、前連結会計年度末と比べて1,923百万円増加し、56,638百万円となりました。増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加2,118百万円によるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べて1,685百万円増加し、37,241百万円（自己資本比率39.7%）となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加1,692百万円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて422百万円減少し、2,364百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,719百万円の収入（前年同期は1,699百万円の支出）となりました。これは主に、棚卸資産の増加3,075百万円（前年同期は5,322百万円の増加）による支出がありましたが、税金等調整前中間純利益3,222百万円（前年同期は2,629百万円）の計上、仕入債務の増加2,068百万円（前年同期は1,055百万円の減少）による収入があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは609百万円の支出（前年同期は346百万円の収入）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出596百万円（前年同期は384百万円の支出）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,533百万円の支出（前年同期は1,516百万円の収入）となりました。これは主に、借入金の減少による純支出1,008百万円（前年同期は1,920百万円の純収入）、配当金の支払520百万円（前年同期は401百万円の支払）によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年５月13日公表の連結業績予想を修正いたしました。なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当中間連結会計期間 (2025年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,793	2,375
受取手形及び売掛金	33,271	33,253
商品及び製品	31,233	34,322
原材料及び貯蔵品	263	250
その他	999	1,009
貸倒引当金	△40	△39
流動資産合計	68,521	71,171
固定資産		
有形固定資産	10,316	10,546
無形固定資産	1,569	1,860
投資その他の資産		
投資有価証券	7,108	7,095
その他	2,953	3,397
貸倒引当金	△200	△192
投資その他の資産合計	9,862	10,300
固定資産合計	21,748	22,707
資産合計	90,270	93,879
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,670	23,789
短期借入金	15,455	14,790
１年内返済予定の長期借入金	4,148	4,078
未払法人税等	648	1,132
賞与引当金	794	816
訴訟損失引当金	60	60
その他	3,542	3,750
流動負債合計	46,320	48,417
固定負債		
長期借入金	4,917	4,643
退職給付に係る負債	1,958	1,952
役員退職慰労引当金	90	71
その他	1,427	1,551
固定負債合計	8,393	8,220
負債合計	54,714	56,638
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,094	6,094
利益剰余金	20,384	22,077
自己株式	△404	△405
株主資本合計	32,570	34,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,654	2,764
繰延ヘッジ損益	△17	9
土地再評価差額金	△475	△475
退職給付に係る調整累計額	823	680
その他の包括利益累計額合計	2,984	2,979
純資産合計	35,555	37,241
負債純資産合計	90,270	93,879

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）
売上高	165,497	171,003
売上原価	151,024	155,218
売上総利益	14,472	15,784
販売費及び一般管理費	12,831	13,483
営業利益	1,641	2,301
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	103	136
受取賃貸料	93	91
補助金収入	157	212
その他	69	53
営業外収益合計	424	495
営業外費用		
支払利息	113	137
賃貸費用	49	42
その他	6	17
営業外費用合計	169	196
経常利益	1,896	2,599
特別利益		
投資有価証券売却益	101	630
固定資産売却益	642	－
特別利益合計	743	630
特別損失		
投資有価証券売却損	－	7
固定資産除却損	1	－
固定資産売却損	9	－
特別損失合計	11	7
税金等調整前中間純利益	2,629	3,222
法人税、住民税及び事業税	272	986
法人税等調整額	507	19
法人税等合計	779	1,006
中間純利益	1,849	2,216
親会社株主に帰属する中間純利益	1,849	2,216

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）
中間純利益	1,849	2,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	110
繰延ヘッジ損益	△126	27
退職給付に係る調整額	△50	△143
その他の包括利益合計	△191	△5
中間包括利益	1,658	2,210
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,658	2,210
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,629	3,222
減価償却費	478	422
有形固定資産売却損益（△は益）	△633	－
投資有価証券売却損益（△は益）	△101	△623
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△26	△8
退職給付に係る資産又は負債の増減額	△184	△137
受取利息及び受取配当金	△104	△138
支払利息	113	137
売上債権の増減額（△は増加）	3,663	9
棚卸資産の増減額（△は増加）	△5,322	△3,075
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,055	2,068
未払消費税等の増減額（△は減少）	△611	△217
その他	△190	517
小計	△1,344	2,178
利息及び配当金の受取額	104	138
利息の支払額	△116	△139
法人税等の支払額	△342	△457
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,699	1,719
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△384	△596
有形固定資産の売却による収入	1,342	－
投資有価証券の取得による支出	△11	△12
投資有価証券の売却による収入	120	805
その他	△720	△806
投資活動によるキャッシュ・フロー	346	△609
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,975	△665
長期借入れによる収入	500	200
長期借入金の返済による支出	△554	△543
配当金の支払額	△401	△520
その他	△2	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,516	△1,533
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	163	△422
現金及び現金同等物の期首残高	2,425	2,787
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,588	2,364

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2024年４月１日　至　2024年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	水産物荷受事業	市場外水産物卸売事業	養殖事業	食品加工事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	96,642	63,390	2,549	1,168	273	164,025	1,471	165,497	－	165,497
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,747	1,041	1,602	718	616	8,726	663	9,389	△9,389	－
計	101,389	64,432	4,152	1,887	890	172,751	2,135	174,887	△9,389	165,497
セグメント利益又は損失（△）	1,523	633	△523	△64	△0	1,567	18	1,586	55	1,641

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額55百万円には、セグメント間取引消去553百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△497百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	水産物荷受事業	市場外水産物卸売事業	養殖事業	食品加工事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	101,082	64,710	2,580	1,144	295	169,814	1,189	171,003	－	171,003
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,656	1,390	1,856	970	634	9,507	455	9,962	△9,962	－
計	105,738	66,101	4,436	2,115	929	179,321	1,644	180,966	△9,962	171,003
セグメント利益又は損失（△）	1,238	592	444	△64	8	2,220	△29	2,191	110	2,301

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額110百万円には、セグメント間取引消去594百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△483百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。